

論文

- クロード・モネとオクターヴ・ミルボー —— 国際絵画展からモネ・ロダン合同展の美術批評をめぐって (1884 - 1889 年) / 亀田晃輔 … 5
- ニコラ・プッサン作《ヘラクレスとカクスのある風景》 —— 文学典拠と「地誌」的解釈 / 福田恭子 … 25

翻訳

- ザントラルトの見たプッサン —— 『ドイツ・アカデミー』におけるプッサン伝 / 大杉千尋、木村三郎 … 49

シンポジウム

若手シンポジウム「印象主義研究の現在」

- プログラム … 65
- カミーユ・ピサロ作《小川に足を浸ける女》に関する考察 / 深尾茅奈美 … 67
- クロード・モネとオクターヴ・ミルボー —— 1889 年「モネ・ロダン合同展」をめぐって / 亀田晃輔 … 68
- ピサロ家の印象主義 / 鈴木慈子 … 69

シンポジウム「ナビ派の現在 —— 近年の展覧会と研究動向の回顧」

- プログラム … 70
- シンポジウム「ナビ派の現在 —— 近年の展覧会と研究動向の回顧」 / 小泉順也 … 71
- 日本におけるナビ派受容の現在 —— 展覧会での紹介を通じて / 杉山菜穂子 … 73
- 国立西洋美術館コレクションにおけるナビ派 —— 作品収集の経緯とその研究・活用の状況 / 袴田紘代 … 74
- シンポジウム「ナビ派の現在 —— 近年の展覧会と研究動向の回顧」報告 / 中村萌恵 … 75

国際シンポジウム「ポスト印象派におけるユートピアの表象 —— セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン」

- プログラム … 76
- 「ポスト印象派におけるユートピアの表象 —— セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン」報告書 / 永井隆則 … 78
- ファン・ゴッホのユートピアとしての「日本」と「南仏」 / 囿府寺司 … 81
- セザンヌの表現主義 —— 《カルタ遊びをする人々》とユートピア / アンドレ・ドンブロウスキー … 82
- ユートピアあるいはユークロニー? —— 南の海のゴーギャン / ダリオ・ガンボーニ … 84

国際シンポジウム「第二次世界大戦期のフランスをめぐる芸術の位相」

プログラム	… 86
無に相對して —— 1940 年代フランスの美術／レミ・ラブリュス	… 88
〈岐路〉に立つ仏独の芸術家 —— 第二次世界大戦時のフランスにおけるコラボレーションと収容 ／河本真理	… 90
第二次世界大戦下の独立派芸術作品と国家購入／松井裕美	… 91
モデルニテの遺産と第二次世界大戦期のフランス美術／山本友紀	… 92
第二次世界大戦期の「フランス性」をめぐる芸術的地政学／大久保恭子	… 93
国際シンポジウム「第二次世界大戦期のフランスをめぐる芸術の位相」報告／小寺里枝	… 94

例会発表要旨

第 153 回例会：17 世紀フランス美術の諸相

サン＝ルイ聖堂完成当初（1641 年）の主祭壇が示す装飾プログラムについて／伊藤里華	… 98
ニコラ・プッサン作《ヘラクレスとカクスのいる風景》—— 文学典拠の問題と「地誌」的解釈 ／福田恭子	… 99

第 154 回例会

19 世紀ルーヴル美術館におけるパステル画展示の変遷／菅野美奈子	…101
ゴッホ《ウジェーヌ・ボックの肖像》、《詩人の庭》における汎神論的自然思想 —— 画家の読書経 験から／柴美春	…102

第 155 回例会：19 世紀のフランス陶磁

19 世紀後半のフランス陶磁における共同制作についての一考察／志水圭歩	…104
セーヴルの新磁器に関する一考察 —— 銅呈色 ^{あか} の紅い装飾について／今井祐子	…105

第 156 回例会：世俗主題の室内装飾

15 世紀前半のストラスブールにおける野人のタペストリー／高木麻紀子	…107
ルーヴシエンヌのパヴィヨンの装飾画 —— フラゴナールの《羊飼いたちの恋》とヴィアンの《恋 の成り行き》／太田みき	…108

展覧会評

展覧会紹介 —— コートールド美術館展、魅惑の印象派／栗田秀法	…110
---------------------------------	------

学会消息	…112
日仏美術学会定款	…116
常任委員会および事務局	…117
日仏美術学会入会のご案内	…118
投稿規定等	…119
編集後記	…123